

第5学年音楽科学習指導案

指導者 西村 典子

1 題材名 重なり合う音の美しい響きを味わおう

2 題材の目標

和音の響きや変化を味わって、聴くことができる。

音の重なり的美しさを感じ取って、演奏のしかたを工夫することができる。

3 題材構成

【児童について】

男子13名，女子11名，計24名のクラスである。

新しい歌や楽器の演奏に意欲的に取り組む子どもたちで，生き生きと歌ったり演奏したりして表現活動を楽しんでいる。5年生になって，合唱・合唱奏・リコーダーアンサンブルなどの活動を通して，声や音の重なり合いを楽しみながら演奏してきた。「ピリブ」「いつでもあの海は」「せかいがひとつになるまで」の2部合唱では，お互いの声や音を聴き合って，友だちのよさに気付いたり，合唱の美しさを感じ取ったりすることができた。しかし，中には，音程に気をつけて歌うことができなかつたり，恥ずかしがって声をあまり出さなかつたりする子どももいる。また，音色の美しさや和音の響きの変化への気づきには個人差がある。授業の中で，和音を使った合図を使い，よく聴いて活動することを継続し，和音の響きを意識して聴くことができるようになってきた。

【題材について】

本題材は，学習指導要領の第5学年および6学年の内容A表現(2)イにかかわる。合唱や合奏などの活動を通して，音の重なりや和声の響きを感じとって，表現の工夫をする力を伸ばしていくことをねらいとしている。

これまで二部の音の重なりや和声の響きに重点を置いてきたが，和音の基本である

7の和音を生かした三部の合唱や合奏に挑戦する。7の和音で伴奏づけをしたり，三部合唱をしたりすることにより，音の重なりや響きの違いを感じ取らせることができ，豊かな音の響きにも気付くことができると考える。また，オーケストラの演奏による豊かな音の響きや曲想の変化を味わわせ，合奏に表現の工夫をに生かすことができるようにしたい。

【指導について】

本題材の指導にあたっては，音の重なりや和声の響きの美しさを十分味わわせ，音楽表現のよさや豊かさに気付いていく学習展開を工夫していく。第一次から第三次までの学習活動の中で「音楽を感じ取り，考え，表現する」というプロセスを繰り返し，和音や和声の響きや変化を感じ取らせ，聴く力や演奏のしかたを工夫する力を育てていきたい。

音の重なりに親しむ合奏や合唱の中では，美しく響き合う音を探ったり，旋律に合う和音を見つけたりする活動を大切にしていく。感じ取った和音の響きを身体表現したり，音の重なり方を言葉で表したりして，感じ取ったことを確かなものにしていきたい。2声と3声の響きの違いや和音の変化を感じ取るためには，旋律を繰り返し演奏したり速度を変えたりしながら，じっくり聴き合うようにしたい。

また，2つのグループに分れて演奏をしたり録音を活用したりして，お互いの演奏を聴き合いながら音の重なりや響きを感じ取ることができるようにする。より豊かな表現の工夫を目指すことができるように，子どもの思いや工夫が生かされているところを見つけ，お互いに認め合いながら，聴き合う時間を大切にしたい。

このような活動を通し，音の重なりや響きを感じ取りながら音楽表現の喜びを心から味わえるようにし，それぞれの思いを生かした表現活動へとつなげ，「きらりとかがやく南の子」を育てていきたい。

4 教材について

「静かにねむれ」武井君子作詞 フォスター作曲 浦田健次郎編曲
 曲の構成は、A-A'-B-A'である。、、、7の和音を基本としており、和声の移り変わる響きの変化を感じ取りやすい。和音の響きを感じ取らせたり、旋律と和音の関わりに気付かせたりすることができる曲である。

「それは地球」長崎一男作詞 森京太郎作曲
 軽快なテンポに乗って歌う前半部分と主要三和音の重なりによる合唱の後半部分から構成されている。三部合唱を通して、、、7の和音を感じ取ったり、その変化を味わったりするのに適した曲である。

「威風堂々第一番」エルガー作曲
 前半の細かいリズムに乗った力強い旋律と、中間部の優しく滑らかな旋律の対比が美しい曲である。CMやアニメの主題歌として、子どもたちにもなじみの深い曲であり、オーケストラの響きの美しさを感じ取って聴いたり、音色を工夫して合奏を楽しんだりすることができる曲である。合奏譜は、易しい旋律と和音で構成されている中間部を扱い、各パートは自由に楽器を選択して合奏できるようになっている。

5 題材の評価規準と具体的評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や 表現の工夫	ウ 表現の工夫	エ 鑑賞の能力
題材の 評価規準	音が重なり合う 美しさを求め、進 んで活動しようと している。	曲想を感じ取っ て、旋律や伴奏を 生かす表現の工夫 をしている。	響きのある声で 合唱したり、楽器 の特徴を生かした 演奏をすることが できる。	歌声や楽器の重 なり合う美しい響 きを味わって聴く ことができる。
具体的 評価規準	各パートの異 なる旋律に関心 を持ちながら歌 おうとしている。 和音伴奏の工 夫に関心を持っ て表現活動をし ようとしている。	和音の響きや その変化を感じ 取りながら演奏 を工夫している。 リズムの変化 を感じ取り、主 旋律に合うよう に伴奏している。 拍の流れに乗 りながら、互い のパートの特徴 や役割を感じ取 って演奏してい る。 曲想にあった 演奏の仕方を工 夫している。	曲想を感じ取 って、正しいリ ズムや音程で歌 うことができる。 音の響きを感 じ取って、リコ ーダーや鍵盤ハ ーモニカで主旋 律をなめらかに 演奏することが できる。 楽器の特徴を 生かして、音量 のバランスに気 をつけたりしな がら、表情豊か に演奏すること ができる。	和音の響きや その変化を感じ 取って聴くこと ができる。 音の重なりや 曲想の変化を感 じとりオーケス トラの豊かな響 きを味わって聴 くことができる。
歌唱				
器楽				
創作				
鑑賞				

7 本時の学習

(1) 本時の目標

、 、 、 7 の和音の響きを感じ取って、3部合唱することができる。

(2) 本時の展開

学 習 活 動	教師のかかわり (評価の観点と方法)
<p>1 ウォーミングアップをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発声練習 ・ 既習曲を歌う。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>ピアノの音をよく聴いて、同じ音程で声を出せるように、 7 の和音をもとにした発声練習をする。 音の重なりを感じながらのびのびと歌える曲を選ぶ。</p> <p>前時までの学習をふりかえり、本時のめあてを確認する。</p>
<p>和音の響きを感じながら、合唱しよう。</p>	
<p>3 4フレーズ目を初めは2声、次は3声で合わせて合唱し、2つのグループに分れて聴き合う。</p> <p>4 感じ取った音の重なりを美しく響かせるように合唱する。</p>	<p>各パートごとに、しっかり音程を確かめることができるように、ピアノで旋律を弾く。</p> <p>音程を取りやすいように、各パートに楽器（キーボードなど）を用意しておく。</p> <p>2声と3声の響きの違いや和音の変化を感じ取ることができるよう、繰り返したり、ゆっくりした速さで歌うようにする。</p> <p>7 の響きの違いや変化を感じ取ったことを言葉で表すことができるようにする。</p> <p>合唱を録音し、練習に生かしたり、演奏を聴き合ったりすることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>イー 和音の響きやその変化を感じ取りながら合唱している。 (演奏中の様子の観察・ 発表・学習シート)</p> </div>
<p>6 本時をふりかえる。</p>	<p>声の重なりや響きに重点を置いてふりかえることができるように、学習シートを準備する。</p>

6 学習活動と指導計画（総時数 9時間・本時 5 / 9 ）

時	ねらい 主な活動 ・ 具体の活動	教師のかかわり 具体の評価（評価の方法）
第一次	和音の響きの変化を感じながら、旋律の歌い方や伴奏の演奏の仕方を工夫する。	
3 時 間	<p>「静かにねむれ」の歌詞を見たり範唱を聞いたりしながら、曲想を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イメージした情景を話し合う。 ・ 範唱を聞いた感想を発表する。 <p>主旋律を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想を感じ取って、歌い方を工夫する。 <p>和音伴奏に親しみ、音の重なりを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伴奏の鍵盤楽器の各パートを演奏し、響きを感じ取る。 ・ 音を確かめながら、主旋律に合う伴奏を見つける。 <p>低音と和音を合わせて、主旋律に合った伴奏を工夫して、歌に合わせて演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに、和音伴奏のリズムを工夫する。 ・ 主旋律と作った伴奏を合わせて演奏する。 ・ 各パートの楽器や音色を工夫して演奏する。 ・ お互いの演奏を聴いて、よさを発表する。 	<p>音楽を特徴づけている要素を基に、曲想を感じ取ることができるように、音楽の諸要素を確認し、掲示しておく。</p> <p>音程や強弱を意識して歌うことができるように、楽譜を掲示して一緒に確認する。</p> <p>ウー （活動の観察と演奏の聴取） 、 、 、 7の和音について説明する。</p> <p>和音の響きの違いを感じ取ることができるように、主旋律に合わせて伴奏和音を弾く。</p> <p>拍の流れに合わせて演奏できるように声をかける。</p> <p>エー （活動の観察と演奏の聴取）</p> <p>伴奏の仕方を工夫できるように、リズムを変えたり、分散和音にする例を演示する。</p> <p>アー （活動の観察）</p> <p>それぞれの工夫を見つけて聴き合うことができるように、音楽の諸要素を確認する。</p> <p>イー （演奏中の様子の観察）</p>
第二次	和音の響きを感じ取って、響きの美しさを楽しみながら合唱する。	
2 時 間 本 時 2 / 2	<p>「それは地球」の範唱を聞いて、旋律の特徴や和音の響きを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主旋律3・4フレーズ目の階名唱をする。 ・ 主旋律以外の旋律をそれぞれ歌う。 <p>3声の響きを味わって合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各パートの音程を確かめる。 ・ 初めは2声、次は3声で合わせる。 ・ 2つのグループに分れて、歌ったり聴いたりして、 、 、 、 7の響きの変化を感じ取って合唱する。 	<p>3・4フレーズ目の分散和音に着目させるようにし、 、 、 、 7の和音と照らし合わせるように楽譜を掲示する。</p> <p>音程を確かめながらゆっくりと歌うようにする。</p> <p>アー （演奏中の様子の観察）</p> <p>各パートごとに、しっかり音程を確かめることができるように、ピアノで旋律を弾く。</p> <p>2声と3声の響きの違いや和音の変化を感じ取ることができるよう、繰り返したり、テンポを変えたりする。</p> <p>合唱を録音し、練習に生かしたり、演奏を聴き合ったりできるようにする。</p> <p>イー (鑑賞中の様子の観察・発表・学習シート)</p>

第三次 楽器の音が重なり合う響きを感じ取って、美しさを味わったり、合奏したりする。		
4 時 間	<p>「威風堂々第1番」を聴いて、曲想の変化やオーケストラの響きを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主旋律の特徴を見つける。 ・ 聞いた感想を学習シートに書く。 <p>主旋律を階名唱したり、リコーダーや鍵盤ハーモニカで演奏したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演奏したい楽器を選ぶ。 	<p>オーケストラの楽器や構成について、説明する。</p> <p>エー (鑑賞中の様子の観察・学習シート)</p>
	<p>主旋律と中・低音部に合う楽器を選び、組み合わせを工夫して合奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主旋律のパートと和音伴奏と低音に合う楽器を選び、分かれて練習し合奏する。 	<p>ファ の運指や鍵盤の位置に気をつけて演奏できるように。</p> <p>ウー (演奏の聴取)</p> <p>楽器の組み合わせを工夫して合奏できるように、楽器選びのポイントを示す。</p> <p>各楽器の特徴や役割がわかるように、提示する。</p> <p>イー (演奏中の様子の観察・学習シート)</p>
	<p>楽器の特徴や曲想を生かして、合奏をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どのように演奏したいかを楽譜に書き込む。 ・ 書き込んだ記号や印を表現できるように、演奏する。 	<p>音楽記号の意味を確認し、演奏を通して理解できるようにする。</p> <p>工夫が演奏に表われているかを録音で確かめることができるようにする。</p> <p>ウー (演奏中の様子の観察・学習シート)</p>
	<p>曲想を生かした表現を工夫して、演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返しの中でパートの人数や楽器の数を増やしたり、リズム伴奏も加えたりして、演奏のしかたを工夫する。 ・ 1回目の合奏をふりかえって、次はどのように演奏したいかを話し合う。 ・ 話し合いを生かして、2回目の合奏する。 	<p>「威風堂々第1番」のオーケストラ演奏を聴かせ、中間部の主旋律が何回も繰り返されていることや音の強弱などによる工夫を見つけ、演奏に生かすことができるようにする。</p> <p>演奏を録音し聴き合って、自分たちの演奏をふりかえることができるようにする。</p> <p>イー (演奏の聴取・演奏中の様子の観察・学習シート)</p>